

笑顔も届けてくれました（12月28日）

昨年末、都立農芸高校緑地環境科の生徒が「ミニ門松」を持ってきてくれました。生徒が製作した「ミニ門松」は、都庁第二本庁舎15階の都立学校教育部執務室入口に飾られ、年明けに出勤する職員を出迎えてくれました。緑地環境科は「都市の環境を創造する緑のアーティストプランナー」をキャッチコピーに、造園技術を通して私たちの生活や心を豊かにする空間を創り上げることを目指しています。日本の伝統を受け継ぐ「技」は、私たち職員に「新しい年」の新鮮さを感じさせてくれました。



こちらも自然と
笑顔になります

門松の贈呈を受けた後の懇談では、「どうしたらお客さんが門松を買ってくれるか？」という視点で、門松の意味や飾り方、都内の住宅に適正なサイズの検討から処分の方法まで、都立学校教育部長から鋭い質問が飛びました。

農芸高校の門松は竹の節の真ん中で切り落とすようにしており、笑った顔が3つ並んでいるように作っているとのこと。

今年も皆様にとって笑顔の多い1年になりますように！



写真は左から谷都立学校教育部長、代表生徒2人（緑地環境科の1年生・3年生）です。